# 日本選挙学会
# ２００２年度第５回理事会議事録

日　　時：平成１５年5月１７日（土）　午後１２時１０分～
場　　所：石川県立社会教育センター　４Ｆ　４５号室（国際会議室）

議　　題：
（前回議事録、入会申込書の回覧）

１．２００２年度決算案の件（配布資料参照）
・森脇・平野両監事より、２００２年度決算案について監査報告があり、経常部分総額￥12,728,701円、年報発行準備金総額￥10,207,213の予算案を承認した。
・森脇監事から余裕のある学会財政を前提に、会員に還元できる事業の展開について指摘があった。

２．入会申込者・大会希望者の件（配布資料参照）
・入会申込者・退会希望者の承認について、河野事務局長より報告があった。
①入会申込みについて
・１１名の申し込みがあった。
・前回の理事会で入会の承認を保留した１名（原圭介氏）を含め、１１名の申し込みがあったが、所属確認の必要な１名を除き、理事会は以下の１０名の入会を承認した。（リスト）
天野慎也（日本大学大学院）、石橋章市朗（関西大学）、篠田正幸（大東文化大学大学院）、白崎護（京都大学）、竹村卓（富山大学）、田中智和（関西大学大学院）、辻陽（京都大学）、中瀬剛丸（ＮＨＫ放送文化研究所）、羽原清雅（帝京大学）、原圭助（有限会社・風雲友）
②退会について
・理事会は以下の３名の「自己都合」による退会を承認した。
泉谷洋平、土居直美、柳恵
・理事会は以下の１名の「死去」による退会を承認した。
福寿幸男
・以下の９名については、平成１５年４月上旬に事務局が会費督促を行ったが、期限までに会費納入を確認することができなかった。したがって理事会は、「会費６年未納」による退会を承認した。
飯坂良明、大久保禎彦、小山博也、周希聖、孫熙斗、高見仁、辻琢也、平山幸士、朴成淳
③現在会員数について（配布資料参照）
・上記の移動によって、現在の会員数は５３８名（うち法人会員１社、休会４名含む）となった。また会費納入率は、７３．４％となった。

３．２００５年度・２００６年度大会開催校の件（財布資料参照）
・２００５年度選挙学会総会・研究会について、愛知学院大学の梅川会員、同森会員から、開催希望の申し入れがあった。理事会は愛知学院大学を２００５年度開催校として内定する旨、確認した。
・２００６年度選挙学会総会・研究会については、上智大学での開催を第一の候補とし、同大学の河崎健会員に検討を依頼した。

４．国際交流規程の件（財布資料参照）

・小林理事長より、「国際交流規程」（案）について報告があった。

・前回の理事会で報告された規程案の第２条・第３条について、招聘報告者・派遣報告者の指名は、報告者を出す国側の選挙学会の意志・指名を尊重することとした。

・第４条について、日本選挙学会は韓国選挙学会から派遣された報告者に対し、日本円で１０万円（韓国通貨で１００万ウォン）を支払うこととした。

・日本選挙学会と韓国選挙学会の交流は、来年度から開始することとした。

５．その他

・議題１における森脇監事の指摘を受けて、小林理事長より、これまで検討してきたＷＥＢジャーナル発行に替えて、紙媒体による新雑誌の発行案が提起され、池田第19号編集委員長に検討を依頼した。

・また、荒木理事より、優れた学会発表に対して報奨金制度を設ける案が提起されが、これについては今後の検討課題とした。

・ＳＡＲＳの関係で台湾からの報告者による報告辞退の申し入れについて、これを承認し、また既に提出されている報告用論文については、受理し販売することも承認した。

・次回理事会　5月１８日（日）１１時３５分～

---

（出席者）小林理事長、浅野、油川、荒木、池田、岩崎、岩渕、内川、加藤、川戸、川人、河村、桑原、神江、田中、谷、中野、中邨、和田の各理事、平野、森脇の両監事、芹澤学術会議会員、オブザーバーのS・リード会員、及び河野事務局長、今井、鬼塚、河崎の各幹事。

以上